

【フラットエンジョイ 2020】

2020年、フラット化のもとに走り出した啓文社。これはまだ変化ではなく、自在に変化するために組織を“溶かした”に過ぎない。社員たちは、溶け合い、混ざり合った状態を「カオス」と名付け、楽しむことにした。昨日と同じやり方は捨て、このカオスから誰も予想できない“未来”を形づくるために……。

TOP STORY

来期(2021)テーマ決定!!

～テーマを表すシンボルマークをつくろう～【前編】

去る9月4日に来期の経営方針テーマが発表されました。

「一步」 最初の一步を踏み出せる勇気を持つ。
一人の一步、組織で20歩、1日20歩、3日で60歩。

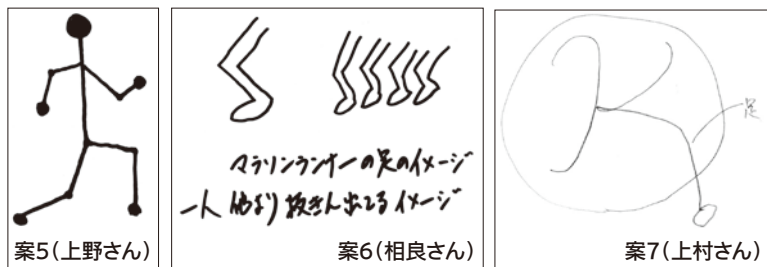
これを見て、みなさんはどんなイメージを抱きましたか？ 組織として成果を上げるには、向かう先を頭で理解するだけでなく、全員が同じ「イメージ」を胸に抱くことがたいせつです。そこで、このテーマを表すシンボルマーク（文字を使わずデザインしたマーク。文字をデザインするロゴマークとは異なる）を作り、来期のテーマに添えることにしました。前編の今回は、みなさんの提案を紹介しながら考えを深めていきたいと思ひます。

1. 足あとを図案化する？



アマビエの足あと（案2・想像だそうです！）や人類初の月面着陸時の足あと（案3）など、ユニークな提案もありました。案4は発行するようなイメージが組み込まれ、勢いが感じられます。また、「全社員の人数分の足や手をデザインする」（森川さん）という、テーマ内の「組織で20歩」を重視した提案も。課題は、足あとだとどうしても過去のイメージになって、テーマにある「最初の」とか「勇気」という部分が十分表せないことです。

2. 脚部または全身を図案化する？



こちらは踏み出す行為に着目。案5は一人にクローズアップしたシンプルな表現。点と

線を用いているので、一人でありながら“つながり”も感じられます。案6は脚部だけの力強い表現。周囲との比較が盛り込まれ、野心が感じられます。また、案7は、文字を使っているのでそのままとシンボルマークにはなりません、枠からはみ出すことで「勇気」をうまく表現しています。

3. その他のアイデア

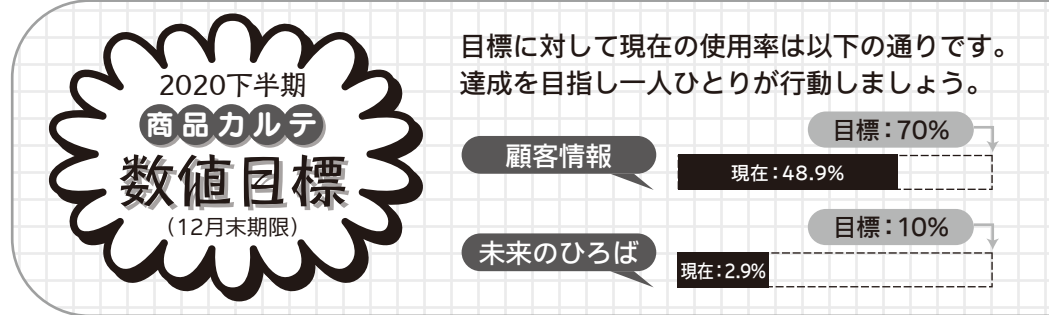


他に、「組織で20歩」に焦点を当てた密集するミツバチ（案8）や、「勇気」から連想されたのでしょう、人気漫画『はじめの一步』の提案（案9）もありました。さらに、「歩（ふ）」と「金将（きんしょう）」という将棋の駒のアイデアも。提案者の岩下さん曰く、「将棋の世界で歩は相手方まで進んだら金となる。一步一步の積み重ねである！」だそう。初めて知りました。まさに、来期のテーマに合致しますね。

また、活動方針の表紙に関して「真っ白な表紙を、カバーもせずに汚しながら使いたい」（有谷さん）という希望も。組織としてある程度まとまりをもって進むためにはイメージが必要ですが、それでも、うるさくならずシンプルなもの望ましいですね。

【まとめ】最終案作成に向けて

同じ「一步」でも、様々な視点がありました。突然の募集にもかかわらず、みなさんご協力誠にありがとうございました。社長が打ち出された「一步」は、最初・勇気・人数・日数と、さまざまな要素を含んでいます。みなさんの案を参考にして最終案を作り上げ、来月この紙上で発表します。お楽しみに！



What does our new president see, read and think?

シン社長が行く

連載 “人・本・旅”をテーマに、社長が社外で出会ったものごとや人について紹介します。

皆様いつも大変お世話になっております。この半年間で様々な生活様式が変わっていています。こうした変化に慣れることができず、変なストレスを抱えてしまうことも多々あると思います。しかしどんなことも自分事として受け入れる器をもち少しずつ変化に対応していきましょう。世の中も会社もこれからどんどん変化とスピードが求められる時代になっています。

今月のPICK UP!



豊田 章男氏
実業家、レーシングドライバー、トヨタ自動車株式会社代表取締役執行役員社長、他。

先日トヨタタイムズにてトヨタの豊田章男社長がモリゾウ選手として24時間の耐久レースに参加している映像を見ました。社長自らレーサーとして運転していくことでTOYOTAという車の安全性や機能性を世にしっかりとアピール。さすが「世界のTOYOTA」。「TOYOTAのトップダウンは社長が現場に入ること。」以前、章男社長が言われていたことです。単に数字だけを見る経営ではなく、経営陣からしっかりとお客様の要望に応えるようどんどん現場に入って改善を進めていく。

啓文社では私も現場の1スタッフとして機械をまわしたり、営業としてお客様のところへ足を運びご要望を伺ったりもしています。皆様だけでなく私自身も率先してどんどん動いていく。根拠のない口だけのトップダウンでなく、実際に動いてやってみて成功も失敗も繰り返していきながらどんどん背中から引っ張っていくよう努めて参ります。過去の実績や栄光にぶら下がっているだけの人はこの先ついてこれないでしょう。常に新しい1歩を踏み出し、トライ＆エラーを繰り返しお客様に常に必要とされ続ける企業へと成長していきましょう。辰時代、印刷業界のモリゾウ啓文社にあり。

徳永 辰太郎



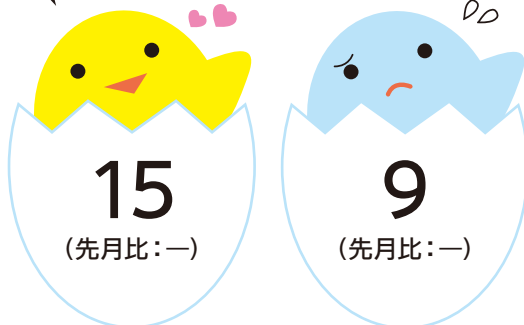
9月の行動の振り返り

- 自ら決めた目標を、
- 常に意識して行動し、実行できた。
 - 一部実行できないこともあった。
 - 意識はしていたが、実行できなかった。
 - 意識も行動もしていなかった。

●10月の目標（全員ミーティングで発表）



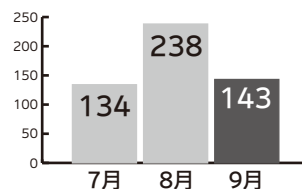
声をあげよう 今月のたまちゃん



たくさん書こう しっかり見よう

今月のいいね数

●月別いいね数



上野さん21、鐘ヶ江さん15、松永さん14、福島さん12、奥添さん7、中野さん6、経理部長5、上村さん5、有谷さん4、社長3、森川さん1、有働50

よりよい会社をみんなで作るために

商品カルテ 使用状況報告 8/29~9/28 (回収:137件)

今月の営業スローガン

相良さん：緻密な情報開示
村木さん：まごころ込めて丁寧な仕事をする！
社長：提案につながる情報収集&共有

●今月の営業スローガン

情報開示・共有は組織の生命線です。全員でそのことを理解し、カルテをフルに活用しましょう。村木さんと社長は先月と同じスローガンでした。まごころ、磨かれましたか？ 提案、つながりましたか？

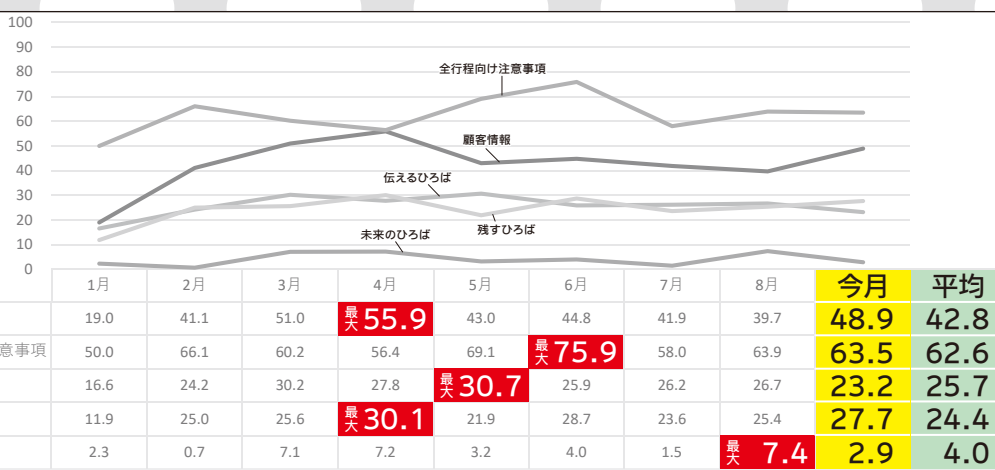
●ひろば使用率

今回から数字を見やすく改善しました。赤枠が過去最大値、黄枠が今月の数値、緑枠が平均値です。各自しっかり見比べ、今後の行動に活かしてください。

●その他所感

顧客情報欄が少しずつ盛り返してきました。使用率UPのためのシステム改善も進行中です（近日中に完了予定。見た目は変更なし）。お客様のことを知らなければ「お客様と共に成長する」ことはできません。有言実行の会社になりましょう。

ひろば使用率



各ひろば詳細・実例紹介

●顧客情報欄

【担当営業別使用率（レポート含む）】

村木さん：20% 相良さん：94.9% 社長：33.3% NET通販：50%

【記入内容（一部抜粋）】

- ・抽象的な表現ですがとてもいい方です。（社長）
- ・ブドウ収穫時期7月~9月（村木さん）
- ・炭火焼屋。ペット可。（村木さん）
- ・工務店。発注は主に古閑社長の奥様より。（相良さん）
- ・旧浜線沿いの老舗醤油、味噌醸造会社（相良さん）

●残すひろば

【記入者内訳】

有谷さん：26件、福島さん4件、有働3件、森川さん2件、社長・相良さん・中野さん：各1件

【記入内容（一部抜粋）】

- ・〈デザイン・編集〉校了後PDFデータをメール。（有働）
- ・〈加工・仕上〉1000枚/包装（福島さん）
- ・〈加工・仕上〉包装方法…定期物件ファイルNo.1に記載あり（中野さん）

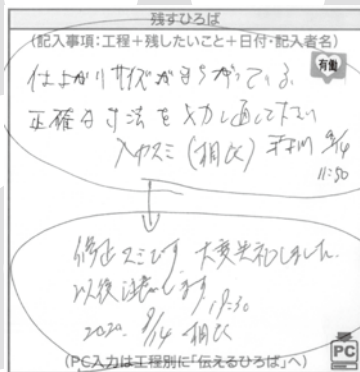
●未来のひろば

【記入者内訳（レポート含む）】

有働：2件、有谷さん：1件、社長：1件

【記入内容（一部抜粋）】

- ・次回単価@103円（社長）
- ・〈デザイン編集課へ〉指穴位置は生産課有谷に相談するようにしてください。（有谷さん）



📷 今月のPICK UP!

社員それぞれが「充実した一人の時間」をしっかり持てることで、会社全体の生産性は向上します。このようにひろば上でやり取りすれば、お互いの業務を止めることなく情報伝達を行うことができ、「一人の時間」が守られます。

Working! 仕事!

新連載
文・翻訳:有働

商品カルテは、一人ひとりがお客や仕事に向き合うことで、お客様がしあわせになり、自分たちもしあわせになるようにとの思いから誕生しました。でも、「仕事でしあわせになんかなれるの?」「仕事は食べていくため。そんなきれいごと、一部の人の話でしょ」と思ってしまうこと、ありませんか? 私はときどきあります。

このコーナーでは、約50年前のアメリカで普通に暮らし、普通に働いていた人々を徹底的に取材してまとめた大著『Working (仕事)』を翻訳して紹介しながら、「普通の人々と仕事」について考えてみたいと思います。ここでしか読めない熊本弁による翻訳でお楽しみください!

【出典】Studs Terkel. Working. New York: Pantheon Books. 1974.



第1回 トム・パトリック | 消防士

世の中ばかごたつこつばかりたい? 国も同じこつたい。ばってん、消防士ば見てん。何ばしよるか見るだけでわかるでしょ? 火ば消す。赤ちゃんば抱き上げて火から救い出す。死んかぶった人のおつたら、人工呼吸ばすぐすっけん。たいぎやなひとにはできんばい。それがリアルたい。自分になりたいもんたい。前ん職場はた一だ朝から晩まで書類と数字ば見るだけで何一んならんだつた。ばってん、いつか振り返って言える日が来ると今は思とる。「俺は火ば消したよ。人ば火から救い出したよ。この地球上で俺がしたこつはそれたい。」